

# 学術サミット 研修会報告 - 一般撮影分野 -

- メンバー： 奥村健一郎 (千葉大学)  
 本田真 (岡山大学)  
 加藤豊幸 (九州大学)  
 柏葉綾子 (旭川医科大学)  
 福井亮平 (鳥取大学)



## Outline

- 国立大学病院としての臨床研究とは何か  
- 研究のseedをどのように見つけるか -
- 学会活動と別に行う意義は何か  
- 国立大学として求められるレベルはどのあたりか -
- 現在すべき研究は何か  
- 各分野の国際的**最新**動向を踏まえて -

## Outline

- 国立大学病院としての臨床研究とは何か  
- 研究のseedをどのように見つけるか -
- 学会活動と別に行う意義は何か  
- 国立大学として求められるレベルはどのあたりか -
- 現在すべき研究は何か  
- 各分野の国際的**最新**動向を踏まえて -

## 国立大学病院としての臨床研究とは何か

- 研究のseedをどのように見つけるか -

- 基礎的な項目に関する研究
  - Screen/Film → CR、CR → FPDなどの変化へ対応した撮影線量や画質の最適化
  - 患者被ばく低減を目的とした装置機能の把握
  - Exposure Indexなどの線量指標を用いた撮影条件設定
- 医療安全に関わる研究
  - 検査のスループットと医療安全を両立する検討

## 国立大学病院としての臨床研究とは何か

- 研究のseedをどのように見つけるか -

- 先進機器・医療についての研究
  - 最新の機器、実験機材を用いた研究
  - 与えられた機器を“使いこなす”だけでなく、最適化し、さらに他施設が参考にできるような研究
  - 特徴ある医療に沿った研究
  - 研究倫理を遵守し、豊富な患者データを用いた研究

➡ 論文として情報の発信

## 国立大学病院としての臨床研究とは何か

- 研究のseedをどのように見つけるか -

- 研究のseedをどのように見つけるか
  - 最新の機器・設備、頻繁な装置更新がseedとなる
  - 日常臨床で興味を持ったことをseedにする
  - 大学病院の医療スタッフは意識が高く、seedを提供されることもある
  - “研究者”のseedを育成する義務もある
  - 大学を中心とした他施設との共同研究

## 国立大学病院としての臨床研究とは何か

- 研究のseedをどのように見つけるか -

### iv. 研究のseedをどのように見つけるか

- 研究のseedを見つけるための3ステップ
  - ① 一般撮影部門としての普遍的な研究テーマ  
画質・QC
  - ② 一般撮影部門における、その時々研究テーマ  
臨床業務で疑問に思ったこと  
新しい技術
  - ③ 個人の研究テーマ  
個人的に継続している研究

## Outline

- 国立大学病院としての臨床研究とは何か  
- 研究のseedをどのように見つけるか -
- 学会活動と別に行う意義は何か  
- 国立大学として求められるレベルはどのあたりか -
- 現在すべき研究は何か  
- 各分野の国際的最新版動向を踏まえて -

## 学会活動と別に行う意義は何か

- 国立大学として求められるレベルはどのあたりか -

### i. 意義

- 多施設間との情報共有を含めたネットワーク構築
- 複数モダリティに跨る多角的な意見の収集
- 新人教育やリフレッシュ向けの教育ができるようなデータの作成

## 学会活動と別に行う意義は何か

- 国立大学として求められるレベルはどのあたりか -

### ii. 国立大学として求められるレベルはどのあたりか

- 特徴ある医療に応えられる技術の確立、質の高いデータの提供
- 地域のリーダーを担い、地域全体の技術レベルを向上させる
- 多施設共同研究を進展させ、科研費や文科省の人材育成などの予算獲得
- これらを総じて、国際化を見据えた情報発信

## Outline

- 国立大学病院としての臨床研究とは何か  
- 研究のseedをどのように見つけるか -
- 学会活動と別に行う意義は何か  
- 国立大学として求められるレベルはどのあたりか -
- 現在すべき研究は何か  
- 各分野の国際的最新版動向を踏まえて -

## 現在すべき研究は何か

- 各分野の国際的最新版動向を踏まえて -

### i. 被ばく管理

- Exposure Index、DRLsの医療現場における活用
- DOSE-SR導入による線量の最適化（DICOM通信規格RDSRの普及）
- 透視検査の術者被ばく低減

### ii. トモシンセシス

- 画質の装置間比較
- 物理評価の標準化

### iii. FPD

- グリッドレス撮影
- Wireless環境における混線
- 画像処理

## 現在すべき研究は何か

- 各分野の国際的最新版動向を踏まえて -

iv. 国立大学として共同で行うべき大きな研究テーマ

- 被ばく管理を目的とした、多施設間での測定値比較
- 共同の被ばく管理システムの構築
- 競争的資金の獲得
- 医療安全に関する研究